民主主義の旗

号外
発行所
民主主義学生同盟
常任委員会

祝 御入学
社会科学専門書
新書、文庫本
良書の店
曾根崎書店
北区高垣町85
電話(361)6721

多彩な新入生歓迎会

準備・計画、順調に進む

「全大阪歓迎会」は五月九日に国民会館で

全大阪新入生歓迎会実行委員会（委員長、府学連委員長生駒君）は「新入生歓迎会」について、次のような呼びかけと内容を発表した

新入生諸君！崩え出る新たな現実の上に、大学という共通の場を持つ全大阪学友の友情と連帯の絆を強めよう！

大阪府学生自治会連合加盟の各自治会の呼びかけのもとに、全大阪新入生歓迎実行委員会は、次のような新入生歓迎会を開催する。

新入生諸君！全大阪新入生歓迎会に全員参加し全大阪の学友と共に有意義な一日を持とう。

日時　五月九日（土）午後二時―七時

場所　国民会館（市電、バス大手前、京阪天満橋下車

講演　湯川秀樹博士（京大教授）―交渉中―各大学著名教授多数

アトラクション　各大学音楽クラブ出演　イタリア画映「祖国は誰のものぞ」

また各大学においてもそれぞれ独自に、自治会を中心に多彩な催しが計画されている。

阪大○四月二日サークルオリエンテーション○二十七日広島県原水協議長森滝氏講演会○二十八日文化祭、講演、映画、歌○二十九日運動会

市大○十八日平和委員会主催、講演、映画会○十九日文学部委員会主催、歓迎ピクニック

工大○十八日学長講演、バザー、音楽クラブ演奏会

女子大○十八日講演、映画会○二十一日奈良方面へ歓迎ピクニック

府大、女子大、社事大○二十六日三大学友好祭

桃大○十四日学生部オリ

府寮連○四月下旬歓迎ピクニック

同盟副委員長談

新入生歓迎会は四月一杯続けられ、諸君もいささか歓迎づかれになるかも知れない。確かに「歓迎会」の名のもとに、自治会の話しやサークルの紹介と勧誘などが一齊に行なわれ、新しい可能性を最大限に獲得しようと手ぐすねが引かれている。

しかし、この機会に大学で何を学びとるのかということを自分で見て聞いて考充分にえてほしい。

歓迎ぜめに喜んで調子に乗らず、されどしらん顔をせず、諸君が入試の栄冠を勝取ったあの忍耐力を今こそ発揮すべし。

友情と連帯のうちに交歓学習会成功す

民主主義学生同盟の主催による「全関西民主主義学生交歓学習会」は二月二十九日―三月二日まで、箕面の勝尾寺で開かれた。東は茨木大、西は岡山大までの約三百名の学友が参加した。これは「あらゆる分野で積極的に活動し、民主主義をまもる良心的な学友を同盟の囲りに広範に集め、巾の広い強固な民主主義学生同盟の建設を行なう」という主旨のもとに開かれたものである。

第一日目は小野義彦市大教授「平和共存の新局面と日本経済」、杉浦府大講師「科学技術運動」についてそれぞれ講演が行なわれた。そして折から静岡で開かれる「三・一ビキニデー」へ代表十六名が参加者のカンパで出発した。

第二日目は森信成市大助教授「グラムシと毛沢東思想」についての講演、同盟委員長高畠君の「民主主義学生同盟オリエンテーション」が行なわれた。また夜はフアイアストームを囲んで歌やオークダスンなどが行なわれた。

第三日目は栗原市大教授「西洋音楽」について講演が行なわれた後、「平和運動」「憲法問題」「芸術運動」の三分科会が行なわれ、それぞれ熱心な討論がなされた。

午後、交歓学習会はすべての行事を終了し、友情と連帯の内にその幕を閉じた

新入生諸君！

入学おめでとう

我々民主主義学生同盟は真理と学問と真の自由への尽きることなき情熱を燃している諸君へ心からの連帯のあいさつを送る。

我々民主主義学生同盟は未来への確信、真理への無限の情熱を諸君と分ち持つことを誇りに思う。

二十世紀、それは人類の夜明けの世紀である。

社会主義世界体制の確立平和と民主主義のための闘いの世界的規模での高揚、自然の力を人類の利益に役立たせる自然科学、技術の驚くほどの発達がそのことを如実に示している。

我々は我々の未来が希望にみちたものであることを知る。

しかし同時に、熱核戦争の脅威は依然として存在している。

民主主義と自由を求める闘いに対して特権的支配層からの執拗な妨害と抑圧がたえまなしに続き、ますます巧妙になっている。

自然科学と技術の発達は同時に兵器の発達の一要因をなしている。

人類全体をして健康で文化的生活を可能ならしめるに充分な生産力と科学の発達があるにもかかわらず、広汎な後進地域ではあいかわらず貧困と無知、疾病と飢餓の力が圧倒している。

日本においては開始され迫りつつある経済の不況、平和憲法の改悪に象徴される民主主義と国民生活の危機は重苦しく我々におおいかぶさってきている。

学生の基本的使命、学問と真理の探求を直接間接におびやかす種々の問題が我々の前に山積している。

理性的判断にうらづけられた断固たる行動のみが、これらの問題を解決し、よりよき未来への前進をきりひらく。

平和憲法を守る闘いの烽火をあげよう！

防衛庁の「省」昇格に反対しよう！

日韓会談反対！

生活と平和のために、春闘を闘う労働者に支持と連帯を！

学生の全国組織＝全日本学生自治会総連合＝全学連が分裂し解体してから既に久しい。全学連は、学生の利益＝平和と民主主義、よりよき学生生活を守るために不可欠である。

日本学生運動の偉大な闘いの伝統を回復せしめよ！

平和のために、民主主義のために、真理のために、全学連の民主的再建のために！

これが我々民主主義学生同盟の旗印である。

新入生諸君！

平和、民主主義、真理のための闘いが必要だ。「愛するために憎まねばならぬ」

新入生諸君！

平和と民主主義と真理のための闘士たれ！

民主主義学生同盟、それは民主的、良心的なすべての学生の共有財産であるしあらねばならぬと我々は確信する。

関西に於る民主的学生の統一は着々とその実を結びつつある。

新入生諸君！

平和、民主主義、真理のために「それでも地球は動いている」と語る勇気をもとう。我々はそのことを熱烈に呼びかける。

新入生諸君を歓迎する――平和と民主主義と真理と――民主主義学生同盟

大阪学生平連協　四月中旬に結成

人類の破滅か平和共存か第三の道はない。

世界史の現段階は、平和の問題を人類にとって最も重要な問題として前面に押し出している。世界史の諸情勢は、既に平和と民主主義、民族独立、社会主義の諸勢力に有利に展開している。

帝国主義の好戦的反動勢力は、現在の危機を帝国主義体制の再編成と戦争政策の推進によって回避しょうとしている。彼らの志向をとりわけ熱核戦争への志向を封じ込め、彼らを孤立化させ、平和共存への転換をかちとることが平和のために闘う諸勢力にとっての中心的課題となっている。

われわれは何よりもまず平和と平和共存のために闘う。

部分的核停条約の締結によって、全面核禁止への画期的な第一歩がすでにふみだされた。われわれはこの成果の上に当面一切の核実験の禁止と、一切の核兵器禁止のために闘う。

われわれは全面完全軍縮を現実的な目標としてその実現のために闘う。

わが国における平和に対する最大の危険は、アメリカ帝国主義との階級同盟（安保体制）に依拠して、平和共存政策に反対し、帝国主義的膨張政策を採用している日本の帝国主義ブルジョアジー、とりわけその最も好戦的グループによって生み出されている。

かれらは極東における新たな攪乱者となろうとしている。

われわれは、帝国主義的好戦的、冷戦政策の一切のあらわれに反対し、核武装阻止、非核武装宣言、非核武装地帯実現のために闘う

憲法改悪に反対し、自衛隊の解散を含む憲法の平和的条項の完全なる実現のために闘う。

日ソ日中貿易の拡大と対米依存政策の転換のために闘う。

米軍事基地撤去、主権の完全回復、安保破棄、非核武装中立の実現のために闘う。

われわれは、わが国の平和運動の現状を反省し、平和を願うすべての人々の統一を強く希求し、運動を無

阪大、市大平和委員会を中心として、府大、女子大、桃大、工大の各平和組織が集まって「大阪学生平和組織連絡協議会」の結成が、四月中旬を目指して進められている。

これは今までの阪大、学大市大各平和委員会連絡会議の停滞を打破するために結成されるもので、「部分核停を始め、一連の平和勢力の勝利を一層強固なものにしなければならない現在、日本の平和運動は、世界の平和運動の基調と対立しており、早急に合流されなければならない。日本の非核武装、核潜水艦寄港阻止、完全軍縮を目指して強力な大衆運動を展開する」と述べている。

日本の平和運動が、停滞と同時に極左化している時、その活躍が各方面から期待されている。

☆　☆　☆　☆　☆

民主主義学生同盟　結成趣意

力にする左右の分裂主義、セクト主義の克服のために闘う。

戦後日本の民主主義は、帝国主義的復活をとげた日本独占資本の反動政策によって制限され、切り縮められ形骸化されてきた。

現在民主主義の擁護、拡大、徹底は独占とその国家の利己的政策に反対し、日本の政治と経済の民主的改革をかちとる闘争なしには実現されない。今日の民主主義は労働者階級によって勤労諸階級をその推進者とする。

われわれ学生の闘争はこれら諸階級の闘争と結合した時のみ真に強力なものになることをわれわれは知っている。

われわれは民主主義の擁護、拡大、徹底、社会進歩のために、日本の学生運動が重要な貢献をなしうるものと確信している。

われわれは当面、あらゆる反動立法阻止、あらゆる反動的法律の撤廃、憲法の平和的民主的条項の完全実施のために闘うことが学生大衆の基本的利益を守る道と考える。

日本の独占と政府は、戦後一貫して、民主的教育、学問研究の自由、大学の自治、学生の生活と権利への不当な干渉と制限を加えてきた。今やかれらは、大学の全面的支配を企図している。われわれは民主教育の擁護、学問研究の自由、大学の自治擁護、実現のために闘う。われわれは学園の民主化と学生の権利の擁護学生生活向上のために闘う

分裂している全学連を統一することは、現在われわれの闘いの前進の決定的な環である。トロッキストによる全学連の私物化、平民学連による全学連分裂工作のごとく、大衆運動の利益をあからさまにふみにじり政治的見解の相違を理由に統一した闘いを拒み、特定政党政派のセクト的利益を全てに優先させることは断じて許されない。

小児病的極左冒険主義、その表裏一体としての右翼的大衆追随主義をわれわれは断固拒否するものである

国際学連の旗のもと平和と民主主義、よりよき学生生活のために、全学連の再建学生運動の統一の実現のために闘う。

われわれは科学と民主主義の見地に立って、現在の思想的混乱と組織的分裂の克服のために闘う。

日本の民主的青年を結集し、代表すべき民主青年同盟は、現在一部指導者の組織内民主主義の破壊、官僚主義、民族主義により民主的青年の要求を正しく反映しなくなっている。平和と民主主義、独立を愛する学生の最も先進的な部分が民青から組織的に排除されているか学生戦線に於て、民青一部指導者によるセクト主義分裂主義は学生運動の正しい発展と全学連再建の大きな障害となっている。

かかる条件の下で、われわれはすべての民主的学生の最も先進的で献身的な部分が、民主主義学生同盟に結集し、われわれとともに平和と民主主義運動の発展と統一のために闘うことを呼びかける。

現情勢の特徴と当面の課題

1

ここ数年間の日本の学生運動の沈滞と低迷の状況は、学生の平和的民主的要求を有効に組織する全国的運動の中で、学友の間での連帯間の喪失と政治的アパシーを招いてきた。しかしこの期間の客観情勢は、国際国内にわたって、我々の平和と民主主義の闘いにおける戦線の統一を緊急な課題として、我々に要請している。全学連分裂、学生運動の沈滞後も一貫して統一を堅拠し大衆闘争を発展させてきた大阪の学生運動に依拠して結成された民主主義学生同盟は、この困難な期間も全国的な学生運動、平和運動の統一のための一貫した努力を展開してきた。運動の統一と発展のためには、我々をとりまく情勢と当面している課題の科学的な把握が必要である。ここに簡単に現情勢の基本的特徴と当面の課題について概括し新入生諸君の討論と運動への参加を期待したい。

2

「人類の破滅が平和共存か第三の道はない。世界史の現段階は、平和の問題を人類にとって最も重要な問題として前面に押し出している。」（民主主義学生同盟「結成趣意」）

人類を熱核戦争の危機に陥れた一昨年のキューバ危機が、ソ連政府の理性的措置と平和愛好諸国民の闘いによって回避された後、社会主義を先頭とする全世界人民の平和と平和共存をめざす闘いの発展は、昨年八月部分的核実験停止条約の締結となって結実した。すでに百ケ国以上の国が参加している部分核停は、地下核実験が除かれるという一定の不充分さをもちつつも、これ以上の「死の灰」の増加を阻止し、軍拡競争核拡散をある程度抑制するという積極的内容をもち、それは平和共存と完全軍縮の闘いの画期的な第一歩を築いたものであった。我々は部分核停の成果をもとにして、全面核停、全面核禁止、全般的完全軍縮を実現するための努力を傾注すべきであろう。

3

今日の帝国主義的対立は特に社会主義への態度の相違となって尖鋭化している戦後対社会主義軍事基地網を布いて世界を支配してきたアメリカ帝国主義は、その老大な軍事援助のための金流出、ドル危機を招き、アメリカの経済的、政治的地位の弱化とヨーロッパ帝国主義の台頭が、今日の帝国主義対立の背景となっている。イギリスのEECの加盟失敗に端を発した帝国主義対立は、アメリカの多角的核戦略の挫折、フランスの中国承認、アメリカのキューバ封鎖に対する英仏帝国主義の非協力等となって顕在化した。これらの一連の事実は、アメリカの世界戦略の破綻を示すと共に平和愛好諸国民にとって情勢が有利に展開していることを示している。中でも仏の中国承認は、この間の最も重要な事件であった。これは、ドゴールが、帝国主義的意図をもっての承認であるが、フランス人民の圧力に屈して、客観的には、アメリカの中国封じ込め政策の破綻と平和共存への歴史的必然性を示すものであり、平和共存の物質的基盤を拡大するものである。

このような中でアメリカ自体は部分核停の締結、軍事予算、軍事援助の削減、対ソ連小麦の輸出等一連の冷戦緩和措置をとることを余儀なくされてきた。しかもアメリカの後進国政策は、完全なディレンマに立たされている。

南ヴェトナムにおいて、アメリカは二度の軍事クーデターを成功させたが何ら事態の解決に役立っていない。マクマラナ国防長官を派遣して「現状維持」の方針を決めたものの、南ヴェトナムの民族解放戦線（「ベトコン」）の勢力が拡大し、反アメリカ感情が高まっているので、その政策の破綻は必至であり、それに伴う北進論の台頭には特に警戒を要する。

中南米においても、キューバ封鎖が効果のないものになりつつあり、パナマ紛争、アルゼンチン、ペルーにおける米石油独占資本の追い出し等「進歩のための同盟」政策は著しく後進している。中南米諸国の民族的愛国的措置に対してアメリカは今やカイライ軍事クーデターで対抗しようとしているが（ブラジルの軍事クーデターはこの現われで

戦線を統一し
平和共存、改憲阻止へ

あった）韓国や南ヴェトナムでみうけられたように必らずや人民の反撃で失敗するであろう。

5

歴史は、平和と民主主義、民族独立社会主義諸勢力に有利に展開している。帝国主義者の好戦的反動グループの意向を、とりわけ熱核戦争への意向を封じ込め、彼らを孤立させ、平和共存への転換をかちとることが平和のために闘う諸勢力にとって、中必的課題となっている。そのためには、世界人民と共に部分核停の成果の上に立つて、あらゆる支配層間の矛盾を利用し平和共存への一層の貫徹、侵略的帝国主義政策の粉砕と完全軍縮の方向をめざすべきであろう。

日本経済は一つの転換点を迎えている。国際競争力強化のための「新産業体制」によって解決をはかろうとしたが、その事は企業の不健全化（莫大な借金）と趨勢的インフレによる物価上昇を結果しただけであった。更に一連のアメリカのドル防衛措置は、国際収支全般にわたる赤字を一層増大させ、高度成長政策の破綻は誰の目にも明らかとなった。今度の公定歩合二厘引上げは、以上のような事態の中でとられた処置であるが、その意味するところは高度成長政策の破綻を完全に証明するものであり、経済的反動化、デフレ転換への第一歩を示すものである。独占資本は、今度のデフレ転換によって、生産の集中集積をはかり（中小企業の倒産は、二月、三月と戦後最高）労働者への攻勢（賃金のストップと首切りを）強めようとしている。国内的には縮少均衡（デフレとそれによる国民経済への圧迫）、対外的には帝国主義的海外侵略、これらが独占の基本的方向である。我々はこれに対して、拡大均衡（大巾賃上げによるところの国内市場の拡大）、対社会主義貿易の拡大を対置しなければならない。

6

7

経済的反動の反映としての政治的反動への傾斜に注目する必要がある。

いわゆる低姿勢に象徴されてきた池田の中間的態度に対して、佐藤を中心とする自民党内極冷戦反動グループの突き上げが激しくなっている。彼らは日韓会議談防衛庁の「省」昇格、憲法改悪を強力に促進することを政府に迫っており、対社会主義貿易にも反対している。池田の使命はもう終った と公然といわれだしている時、われわれは特にこれら反動グループの台頭に警戒し、彼らを孤立、粉砕してしまわねばならない。

8

日韓会談は、昨年十一月大平、金会談で合意をみた最難関「請求権」問題が、無償三億ドル、有償二億ドル借款一億ドルということで妥結し、残された最大の問題さえ解決すれば一挙に妥結、批准にもっていこうとしていた。二年ぶりの本会談、農相会談、韓国政界の実力者金氏の来日と妥結のムードが高まっていたが、韓国学生デモの高揚は、このムードに冷水をあびせたそのため農省会談は一時中断の破目に陥っている。しかし韓国の経済危機、朴政権のテコ入れ、日本独占の海外進出、アメリカのNEATO結成の意図は消失しておらず、一時的冷却期間をおくにしても早期妥結の意図は変っていない。アジアの冷戦体制を維持、拡大日本帝国主義の冒険を意味する日韓会談を最終的に葬ってしまわねばならない。

9

それと共に日中国交樹立を迫り、アジアの緊張妥国をとり去ってしまわねばならない。六月の憲法調査会答申を控えて**改憲阻止闘争**が焦眉の課題となりつつある自民党内のシビアーな対立を反映して憲法調査会にも改憲の戦術的問題をめぐって、二つの傾向が対立している。即ち高柳意見書に代表される「非改憲派」（実質改憲、運用解釈論―七名）十七人意見書に代表される改憲派（条文改憲―三三名）とである。両的とも現在の自衛隊やその他諸々の政府の違憲事実に対しても合憲説をとっている。その相違は、「非改憲派」が憲法の拡大解釈（現憲法の下で自衛隊の核武装や海外派兵も可能）による運用を主張し、条文上の改憲を否定するのに対し、改憲派は、押しつけ憲法論の立場に立ちながら条文上の改憲を主張している点にある。昨年の六月頃までは高柳派の方が有力であったが、その後十七人意見書を中心として極反動グループの強力なまき返しが功を奏し、その内容が答申の基調になるものと予想される。自民党内部でも次第に条文改憲を主張する極反動グループが台頭してきており、オリンピック後、具体的な改憲が日程に上されようとしている。

10

アメリカのドル防衛の一環たる軍事援助の削減からくる日本の「自主防衛」の必要性、経済的危機から日本帝国主義の海外進出、これらの理由から自衛隊の核武装の海外派兵、徴兵制を伴う第九条の「改正」が改憲の中心となっている。しかし改憲の企図は単に第九条にとどまらず、国会の地位の低下と内閣への権力の集中、基本的人権の大巾な制限、天皇の元首化など全般にわたるもので、戦争とファッシズムの方向を表わしている。

彼らはすでに改憲への準備を開始している。オリンピックを利用しての愛国心民族主義の宣伝、自衛隊の合法化のための国民へのPR（各地での防衛博等）など、中でも今国会で予定されている防衛庁の「防衛省」への昇格は、本格的な日本の軍国主義化、核武装に連なるもので、われわれが阻止しなければならない緊急課題である。

11

我々は当面（六月に予定されている　　）憲法調査会答申に向けて、その批判を含む一大カンパニア、統一行動を展開することにより先制攻撃をかけていく一方憲法のこれ以上の一切の空洞化に反対して、その平和的民主的条項の完全実施（安保破棄、基地撤去、日本の中立化路線）をかちとってゆかねばならない。今問題になっているILOの批准と公務員労働者の労働基本権の回復＝スト権奪回はその手初めである。

12

大学の全面的支配を企図した大管法の法制化が我々の運動により失敗した政府と独占は、その後各個撃破の形で大学に攻撃をかけきてている。医学インターン制度の改悪、教員養成制度の改悪、私学授業料の値上げなどの攻撃に対しては各戦線別での闘争を組織する方向で応えねばならない。自治会への攻撃、反動的寮則、学館規則の押しつなどにも充分対処しうる学内体制を固める必要がある。

13

以上の諸課題に応える有効な闘争は現在分裂している戦線を統一すること以外にはありえない。特に平和運動、学生運動の統一は急務である。

①日本の原水禁運動の統一〃あらゆる核実反対〃や〃部分核停の評価〃をめぐっての日本の原水協の分裂の原因は、これらの基本原則に反対した共産党の分裂主義、民族主義と組織的に分裂させた社会党、総評の一部指導者の分裂路線であるわれわれは現在の原水禁運動の政党系列化に反対し、平和共存と軍縮をめざす平和運動の基本原則を堅持し日本原水協の国民的伝統を守る立場から、広島等三被爆地の八・六大会に向けてのアッピールを強く支持して日本原水禁運動の統一のために努力すべきだろう。

②安保共闘の再開、大阪青婦学共闘の強化。

③学生運動の統一。大管法闘争にもみられたように、安保闘争以後一貫して統一して大衆闘争を展開してきた関西三府県学連の統一強化と力量の増大、関西学連の結成、全学連の再建というコースが、学生運動の統一にとっての最も現実的な道である。この過程で、意見との異なるすべての者を敵勝手にきめつけ、組織、運動から排除し、現在全学連の再建に最大の障害になっている平民学連はやがて粉砕されるであろう。

民主主義学生同盟は、これら運動の統一と発展のために、諸君と共に献身的に闘うであろう。

読書
新入生のために
厳選した入門書

入学の喜び、それは一体何か？いやな受験勉強から解放された諸君を待っているものは真の学問を学ぶことに違いない。われわれは諸君が今いだいている真理への熱望、ヒューマニズム、科学と民主主義への渇望をこの上なく大切なものと考えている。それこそが真の学問の条件であり、大学生活を豊かにするエネルギーだ。

読書も社会や人生についての関心も討論も研究もない大学生活。諸君の闘志にひきかえ、現実は何と頽廃していることか研究、それは諸君が諸君の手で獲得するものだ。諸君の積極的な生活こそがそれを作り上げるものなのだ。

以下にあげる数冊の本は、優れたものの内の最も基礎的なものばかりである。現在のように本が氾濫し、価格が騰貴し、とりわけわれわれに多くの読書の時間が与えられない時、良書を選ぶことは特に重要である

諸君はこの選択を喜び、やがて「もっと読みたい」というであろう。さあこれから四年間、共に学び、共に研究し、討論しよう。

＝経済学＝

経済学は、社会の一般的運動法則―これによって一切の思想、文化が決まるところの―を研究する学問であり、一切の学問の基礎である。このことは、国内、海外の市場問題、影気変動が、政治や思想に与える影響について考えれば、容易に理解されるであろう。われわれがまず経済学から始めたのはそのためである

○ソ連邦科学アカデミー「経済学教科書」全四冊合同新書各二五〇円

○マルクス「賃働労と資本」国民文庫七〇円

○河上肇「資本論入門」全五冊青木文庫

＝政治理論＝

政治は一切の問題が、そこにおいて現実的に結着がつけられ、また一切の活動がそれに従うわれわれの社会生活における最も真剣な領域である。

「政治は経済の集中的表現である」―レーニン―

政治理論の研究にあたって、レーニンを研究することが特に大切である。

戦後の思想的混乱の主たる原因は、レーニンの研究がゆるがせにされ、トロッキー、毛沢東などへと次々に追い求められた

○クーシネン監修「マルクス・レーニン主義教程」第四分冊合同新書

○「ソ連共産党史」全三冊国民文庫

○レーニン「国家と革命」国民文庫

＝哲学＝

現在ほど思想が混乱している時はない。革命と反革命、進歩と反動、民主主義とファッシズムなどの概念が混乱、その基準が明らかでない。そしてそこからくる多くの意想的混乱は現在の特徴的事実である。諸君は以下の哲学書によって、これらの混乱を整理し、科学と民主主義の強固な世界観を身につけることができるだろう。

○プレハーノフ「史的一元論」岩波文庫

○プレハーノフ「歴史における個人の役割」同右

○アダム・シャフ「人間の哲学」同右

＝注＝

大阪学生唯物論研究会より「読書案内」が発売されるので、それを熟読されたい。